〈お願い〉

〈重 要〉ご使用の前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ https://www.aprica.jp/

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー事業部 お客様サポートセンター　TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155
受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

25-08

NWL0001776050A

Aprica

ジュニアシート

ライドクルー ISOFIX

RideCrew ISOFIX

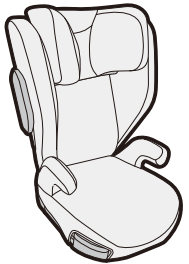
取扱説明書／保証書

本製品は、身長100cmから150cmまでのお子さま用です。
（各モードでの使用範囲は下表をご覧ください。）
UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

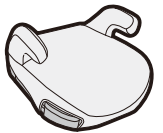
このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書（本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、本書を取扱説明書収納ポケットに常備し、大切に保管してください。

UN ECE-R129／03適合　アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置
汎用ブースタークッション改良型幼児拘束装置

取り付け方法	お子さまの条件
ブースターシートモード	身長：100cm～150cm
ブースタークッションモード	身長：135cm～150cm



〈ブースターシートモード〉



〈ブースタークッションモード〉

ご使用前に
ブースターシートモード
ブースタークッションモード共通
ブースター
シートモード
ブースター
クッションモード
お手入れ・その他
保証書

NWL0001776050A

もくじ

ご使用前に

ジュニアシートについて …… 2
保護者の方へのアドバイス …… 2
本書の表示について …… 2
各部のなまえ …… 3
お子さまの条件 …… 7
座席の条件 …… 9
シートベルトの条件 …… 13
ご使用上の注意 …… 15
組み立てかた …… 19
カップホルダーの使いかた …… 21
取り付け準備 …… 22

ブースターシートモード・ブースタークッションモード共通

車への取り付けかた（ISOFIX） …… 23
車からの取り外しかた（ISOFIX） …… 26

ブースターシートモード

車への取り付けかた（シートベルト） …… 27
お子さまの乗せかた …… 29
使用時の確認 …… 31

ブースタークッションモード

背もたれの取り外しかた …… 32
車への取り付けかた（シートベルト） …… 33
お子さまの乗せかた …… 34
使用時の確認 …… 35

お手入れ・その他

シートカバーの取り外しかた …… 36
お手入れ／保管・廃棄のしかた …… 38
困ったときに …… 39
保証について …… 41
アフターサービスについての連絡先 …… 41

保証書

保証書 …… 42

ご使用前に

ジュニアシートについて

・ジュニアシートは、正しくお使いいただくことで自動車事故などの際にお子さまの傷害を軽減しますが、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国でお使いいただけます。保証については日本国内においてのみ有効です。
・本書に説明されている以外の方法で使用しないでください。衝突などの際に本来の性能を発揮できず大変危険です。

〈中古品のご使用について〉
・使用履歴や使用状態、特に事故歴の不明な場合は使用しないでください。
・ひび割れや大きなキズ、留め金のゆるみなどがある場合は使用しないでください。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

保護者の方へのアドバイス

・お子さまにジュニアシートの使用を習慣にしてください。

・長距離を走る場合は、1時間程度を目安に休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。

・開梱後は本書をよくお読みのうえ各動作確認をおこなってください。また、安心してご使用いただくため、取り付け後は定期的に各動作確認をおこなってください。本書通りに操作できない場合、弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）までお問合せください。

本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

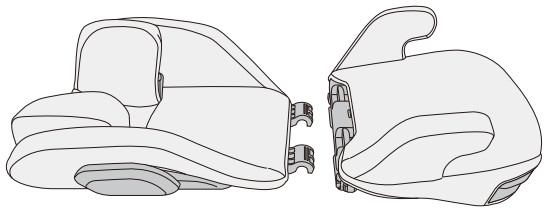
製品の取扱いにおける禁止行為です。

アドバイス　製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

梱包内容

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



背もたれ　　座面

〈付属品〉



ガイドキャップ(2個)
(使いかた P23参照)



取扱説明書(本書)
(取扱説明書収納ポケットに保管してください。)

〈重 要〉ご使用の前に、お客様情報登録のお願い

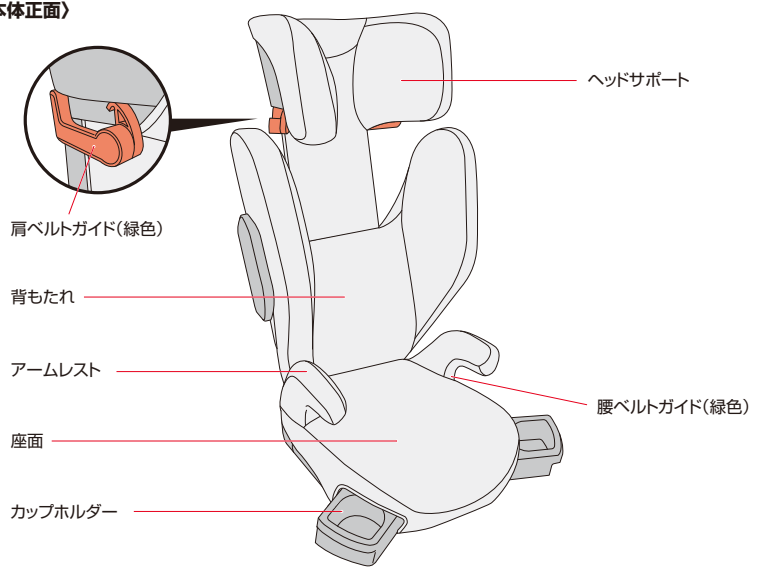
弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。安心してジュニアシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ https://www.aprica.jp/

お客様情報登録

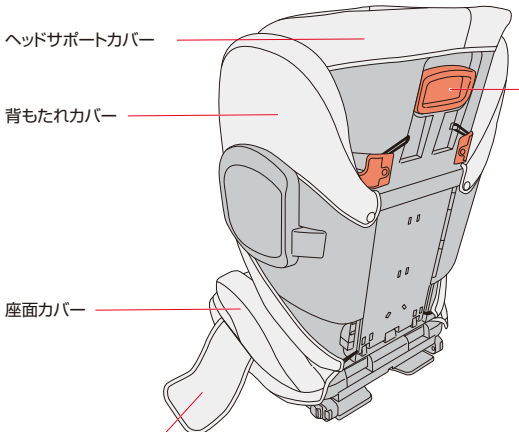
QRコード

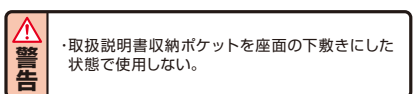
〈本体正面〉



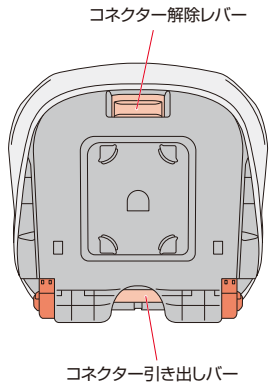
各部のなまえ

〈本体背面〉

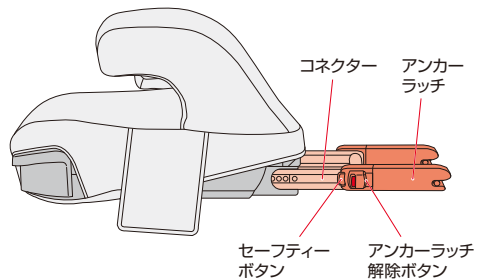




〈座面裏側〉



〈座面横側〉



（コネクターの引き出しかたはP24参照）

お子さまの条件

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
・お子さまの身長に合わせてご使用ください。

危険
・条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの身長にあわせて、2通りの使いかたがあります。

ブースターシートモード

身長100cm～150cm

・背もたれを使用

・車のシートベルトでお子さまを拘束

・ジュニアシートの固定方法
車の座席や使用状況に合わせ、次の〈A〉、〈B〉いずれかの方法で取り付けます。

〈A〉 ISOFIXで取り付け（P23～P25参照）

〈B〉 車のシートベルトで取り付け（P27～P28参照）



アドバイス
お子さまの安全性を高めるために、身長135cm以上の場合もブースターシートモードの使用をお奨めします。

ブースタークッションモード

身長135cm～150cm

・背もたれを取り外す

・車のシートベルトでお子さまを拘束

・ジュニアシートの固定方法
車の座席や使用状況に合わせ、次の〈A〉、〈B〉いずれかの方法で取り付けます。

〈A〉 ISOFIXで取り付け（P23～P25参照）

〈B〉 車のシートベルトで取り付け（P33参照）



危険
・身長135cm未満のお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

座席の条件

本製品は次の条件を満たすいずれの座席にも取り付けることができます。

●車の取扱説明書に i-Size適合、ISOFIX対応の表記や、下記のマークがある座席。



●UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した座席。

ブースターシートモードでご使用の場合

本製品は、アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。
アイサイズ改良型幼児拘束装置については、車の取扱説明書をお読みください。

※アイサイズ適合座席、車の内部にぶつからないことを条件に車の取扱説明書に『汎用型チャイルドシートの取り付けが可能』と記載されている座席に概ね取り付けできます。
※**身長が135cmを超えるお子さまにご使用の場合、本製品は認可された全ての車に取り付けられない場合があります。**

ブースタークッションモードでご使用の場合

本製品は、汎用ブースタークッション改良型幼児拘束装置です。

※アイサイズ適合座席、車の取扱説明書に『汎用型チャイルドシートの取り付けが可能』と記載されている座席に概ね取り付けできます。

•取り付け可能な座席

取り付け方法	座席条件	使用
前向き	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできます。車の取扱説明書にジュニアシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。
	前座席：エアバッグを装備している	
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます。
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます。
	車の進行方向に対し横向きの座席	取り付けできません。
	車の進行方向に対し後向きの座席	取り付けできません。

•お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めします。

※エアバッグのON/OFFについては、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。
※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には取り付けできますが、車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

：このマークのある座席には取り付けないでください。



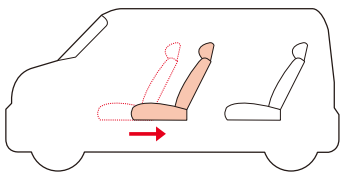
座席の条件

〈お奨めする取り付け座席〉

・お子さまの安全を最優先に考えジュニアシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。

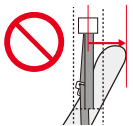
〈やむを得ず前席に取り付ける場合の注意〉

・座席をいちばん後ろまで移動（スライド）させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。

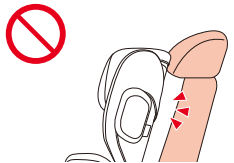


⚠警告

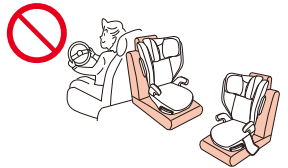
・座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



〈取り付けできない座席〉



・車のヘッドレストが外せず、座席の背もたれとジュニアシートの背もたれが接触しない座席。



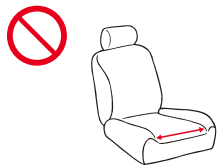
・進行方向に対して横向き及び後向きの座席。



・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



・極端に奥行きが短い座席。（補助席や幼児専用座席）







・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。（極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など）

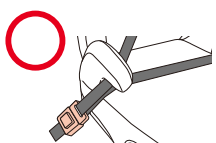
シートベルトの条件

・本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

	シートベルトの種類	特　徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト （緊急ロック式巻取装置付）	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR／ELR付シートベルト （チャイルドロック機構付）	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

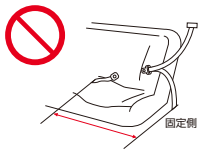
〈シートベルトバックルの正しい位置〉

・シートベルトバックルの位置は、ジュニアシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・右図のように、バックルが製品に干渉しバックル側のベルトにたるみが生じる場合は本製品はそのシートベルト及び車両ではご使用になれません。ご不明な方は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。（P41参照）

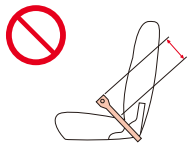




〈取り付けできない座席〉



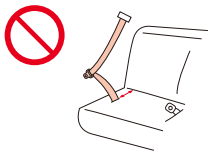
・シートベルトの取り付け幅が極端に小さくベースでバックルを踏みつける座席。



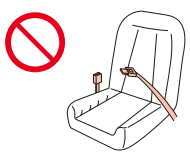
・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。（一部のRV車）



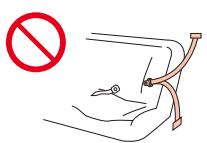
・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。



・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。



・2点式シートベルトの座席。



・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



・パッシブシートベルトの座席。（座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席）



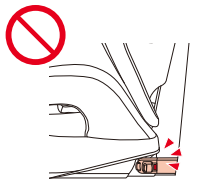
・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。

ご使用上の注意

⚠危険 **誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。**

·身長100cm未満及び150cmを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

·ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。
(ISOFIXでジュニアシートを固定している場合。)



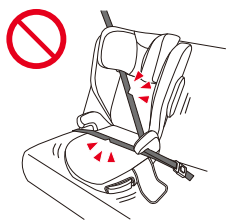
·ジュニアシートが確実に固定できない座席では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



·ジュニアシートの固定が不完全でシートベルトに"ゆるみ"がある場合は使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



·シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



⚠危険 **誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。**



·シートベルトのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



·お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



·ジュニアシートを本書及び、本体表示の説明以外の方法で取り付けない。
製品の機能が充分発揮されないだけなく危険です。

ご使用上の注意

⚠警告　誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

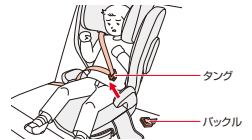
·お子さまをジュニアシートに乗せたまま一人で車内に残さない。
·お子さまを一人で車内に残さない。
·シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。
·同時に二人以上で使用しない。
·緊急時の脱出の妨げになる座席にはジュニアシートを取り付けない。
（例:片側スライドドアのドア側座席など）
·ジュニアシートの底面にクッション、座布団などを敷かない。
·お子さまの耳の上端部が本製品の上端部より上に出る場合は使用しない。
·ブースタークッションモードで、お子さまの耳の上端部が車のヘッドレストの上端部より上に出る場合は使用しない。
·可動部に水やジュース、食べこぼし、泥水、ゴミなどが入り操作ができないなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。
·事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
·本製品のネジやナットを取り外したり、分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
·シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
·弊社指定アクセサリー以外のものを使用しない。
·本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
·保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
·梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
·本製品の部品が破損した状態で使用しない。
·固定していないジュニアシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
·取り外した背もたれはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。
·背もたれのみで使用しない。
·極端な厚着や防寒具の上からシートベルトを装着しない。
シートベルトのゆるみの原因となることがあります。
寒さ対策はシートベルトを装着した上から行ってください。

⚠注意　誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

·ジュニアシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
·可動式シートまたは、車のドアにジュニアシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
·ジュニアシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
·火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
·通常の椅子として使用しない。
·お子さまにジュニアシートの取り付けや、操作をさせない。
·ジュニアシートに重量物をのせない。
·本体に貼り付けられたシールをはがさない。
·屋外に放置し、雨などにさらさない。
·可動部に水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入り込まないように注意してください。故障の原因となります。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…
①車のシートベルトのバックルを外す。
②お子さまをジュニアシートから降ろす。
③安全な場所へ避難する。



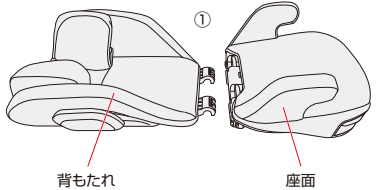
バックルからタングが抜けない時は…
●車のシートベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。



組み立てかた

・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。

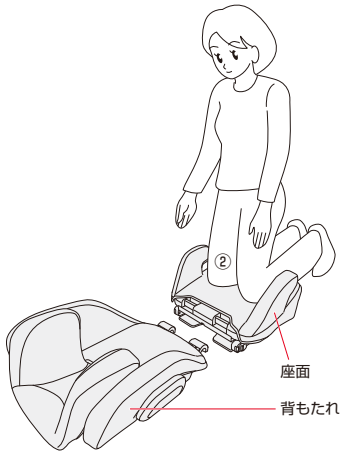
①背もたれと座面を並べる。



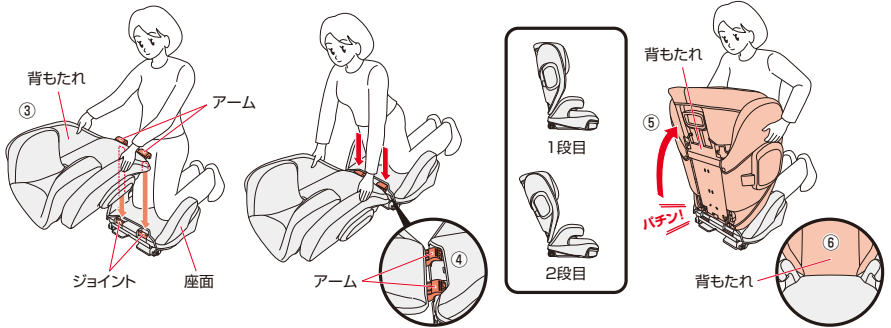
警告

・組み立ては必ず大人が行い、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

②座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。



③背もたれを水平にして持ち上げる。
④シートカバーを挟み込まないようにアームを座面のジョイントに掛ける。
⑤背もたれを起こす。
※少し大きな音がしますが、故障ではありません。



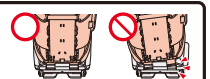
警告

・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意する。
・組み立てたジュニアシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意する。

⑥背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。
※背もたれ角度は2段階に調節が可能です。(P27参照)
※背もたれは1段目、2段目で自立しますが、固定されるものではありません。

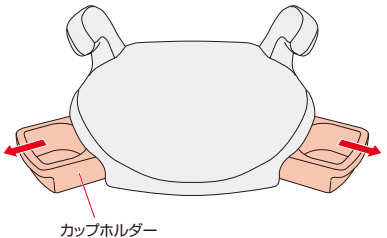
注意

・背もたれ部分が斜めにならないよう注意してください。
・シートカバーを挟み込まないよう注意してください。



カップホルダーの使いかた

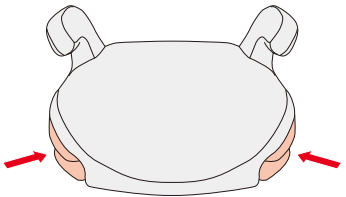
〈使用する場合〉



●最後までしっかり引き出す。
（簡易的に固定されます。）

警告
・カップホルダーに熱い飲み物などの容器を置かない。
やけどをするおそれがあります。
・お子さまを乗せた状態でカップホルダーを収納しない。
手や指などが挟まれけがをするおそれがあります。

〈使用しない場合〉



●最後まで押し込み収納する。
（簡易的に固定されます。）

注意
・カップホルダーを使用する場合は、飲み物がこぼれ落ちないように注意してください。

取り付け準備

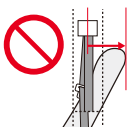
●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをおすすめいたします。

●本書では、右後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。
詳しくはP9～P14を参照してください。

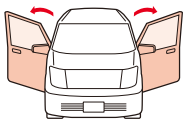
危険
・ジュニアシートが確実に固定できない座席では使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告
・緊急時の脱出の妨げになる座席にはジュニアシートを取り付けない。
・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

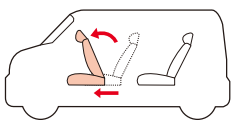


〈取り付け作業のスペース確保〉

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



アドバイス
・ジュニアシートを取り付ける座席が革仕様の場合は、別売りの「シート保護マット」のご使用を推奨します。直接取り付けると革をいためるおそれがあります。なお、「シート保護マット」は革仕様以外の座席にもご使用いただけます。



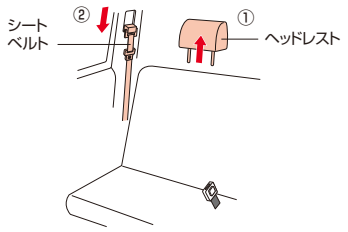
〈座席の準備〉 ・調節可能な場合のみ。

ブースターシートモード

①車のヘッドレストを取り外す。
②シートベルトの高さを下げる。

ブースタークッションモード

①車のヘッドレストを取り外している場合は取り付ける。



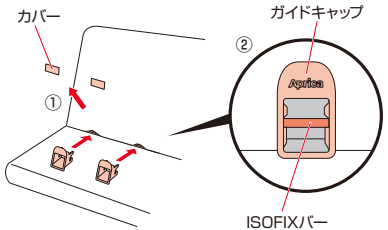
警告

・車のヘッドレストがジュニアシートに干渉した状態で取り付けない。確実に固定できないおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

〈ガイドキャップを取り付ける〉

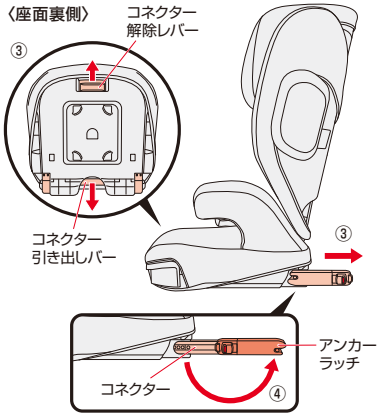
①ISOFIXバーのカバーが装備されている場合は、カバーを外す。（左右）
②ISOFIXバーが車のシートにかくれて見えにくい場合は、ガイドキャップをISOFIXバーに差し込み取り付ける。（左右）

アドバイス　車によってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにジュニアシートを取り付けてください。



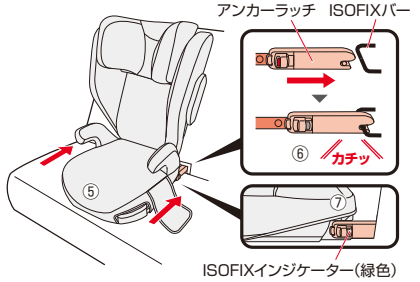
〈コネクターを引き出す〉

③座面裏側のコネクター解除レバーを手前に引きながら、コネクターを最後まで後方に引き出す。（左右）
④アンカーラッチを回転させる。



〈アンカーラッチを押し込む〉

⑤ジュニアシートを座席にのせ、ジュニアシートの前部が座席からはみ出していないことを確認する。
⑥左右のISOFIXバーに「カチッ」と音がするまで、ジュニアシート（アンカーラッチ）を左右同時に押し込む。
⑦左右のISOFIXインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。



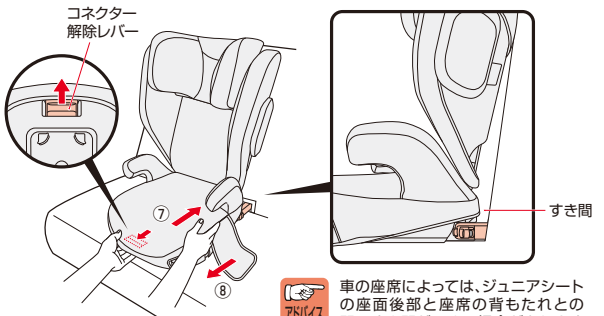
警告

・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能が発揮できません。

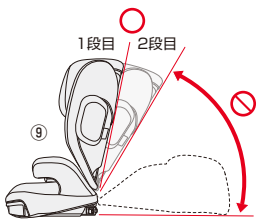
ブースターシートモード・ブースタークッションモード共通／車への取り付けかた（ISOFIX）

〈ジュニアシートを押し付ける〉

⑦コネクター解除レバーを手前に引きながら車の座席の背もたれに接するまでジュニアシートを左右同時に押しつける。
⑧コネクター解除レバーから手を放し、解除レバーが復帰していること、ジュニアシートを手前に引き動かないことを確認する。
⑨ブースターシートモードで使用する場合は、ジュニアシートの背もたれ角度（2段階）を座席に合わせて調節する。
リクライニングが可能な座席の場合は、使用したいジュニアシートの背もたれ角度に合わせ座席のリクライニングを調節する。
⑩シートベルトのバックルにタングを差し込めることを確認し、差し込めない場合はアンカーラッチを収納のうえシートベルトで取り付けてください。（P27、P28参照）



アドバイス 車の座席によっては、ジュニアシートの座面後部と座席の背もたれとの間にすき間ができる場合がありますが安全上問題はありません。

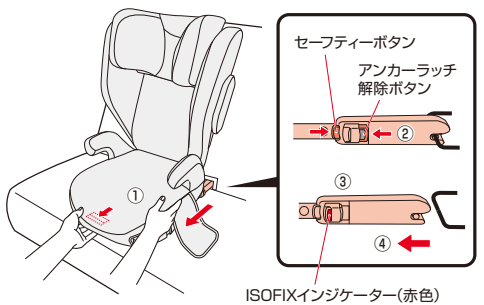


警告
・ジュニアシートの背もたれ角度は1段目か2段目以外では使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

車からの取り外しかた（ISOFIX）

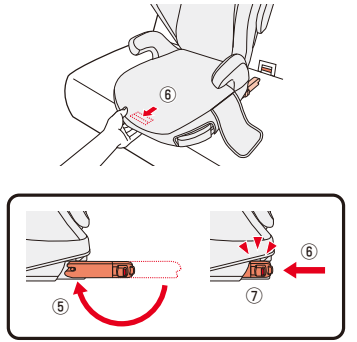
〈ジュニアシートを取り外す〉

①コネクター解除レバーを引きながらジュニアシートをまっすぐ手前に引く。
②左右のセーフティーボタンを押しながらアンカーラッチ解除ボタンを左右同時に押し込み、
③ISOFIXインジケーターが「緑色」から「赤色」になり解除したことを確認する。（左右）
④ISOFIXバーから解除された状態でジュニアシートを手前に引き寄せる。



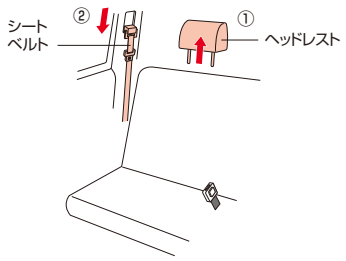
〈アンカーラッチを収納する〉

⑤アンカーラッチを回転させる。
⑥コネクター解除レバーを手前に引きながら左右のアンカーラッチを収納する。
⑦コネクター解除レバーから手を離し、コネクター解除レバーが復帰し、アンカーラッチが動かないことを確認する。



〈座席の準備〉 ・調節可能な場合のみ。

①車のヘッドレストを取り外す。
②シートベルトの高さを下げる。

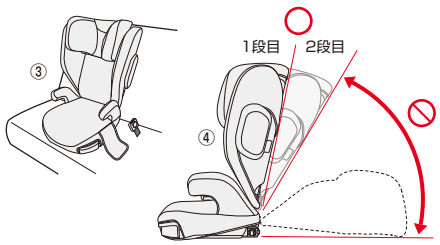


⚠警告

・車のヘッドレストがジュニアシートに干渉した状態で取り付けない。ジュニアシートを確実に固定できないおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

〈背もたれ角度を調節する〉

③ジュニアシートを座席にのせ、ジュニアシートの前部が座席からはみ出していないことを確認する。
④ジュニアシートの背もたれ角度（2段階）を座席に合わせて調節する。
リクライニングが可能な座席の場合は、使用したいジュニアシートの背もたれ角度に合わせ座席のリクライニングを調節する。

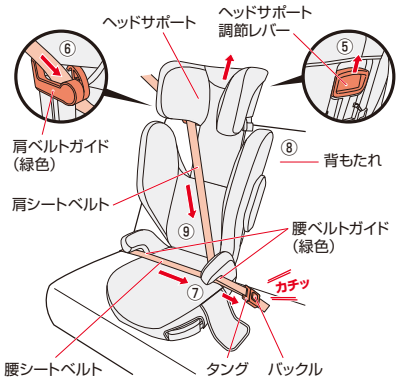


⚠警告

・ジュニアシートの背もたれ角度は1段目か2段目以外では使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈シートベルトをとめる〉

⑤ヘッドサポート調節レバーを引き上げ、ヘッドサポートを上げる。
⑥肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。
⑦腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し（左右）、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。

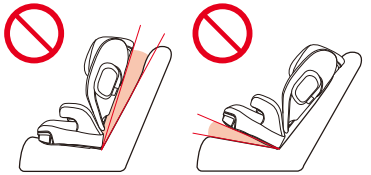


⑧ジュニアシートの背もたれと、車の座席の背もたれのすき間がなくなるようにジュニアシートの位置を調節する。
⑨シートベルトがしっかり締まっていることを確認する。

⚠警告

・お子さまが乗っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで固定する。
急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。
・シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。

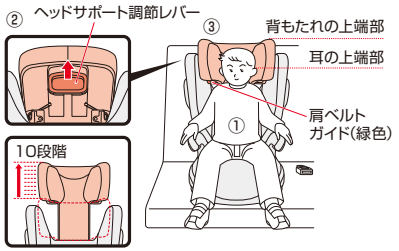
・ジュニアシートの背もたれと車の座席の背もたれ、ジュニアシートの座面と車の座席の座面が離れた状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



〈お子さまを乗せ、ヘッドサポートの高さを調節する〉

ヘッドサポートの高さは10段階に調節することができます。

①お子さまを座面に深く座らせる。
②ヘッドサポート調節レバーを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節する。
③ヘッドサポートがしっかりと固定されていることを確認する。

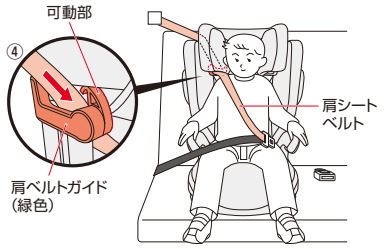


警告

・お子さまの耳の上端部がジュニアシートの上端部より上に出る場合は使用しない。
・ヘッドサポート操作時は、お子さまの手や指などを近づけない。手や指などが挟まれけがをするおそれがあります。

〈肩シートベルトを通す〉

④可動部を下げ、肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。

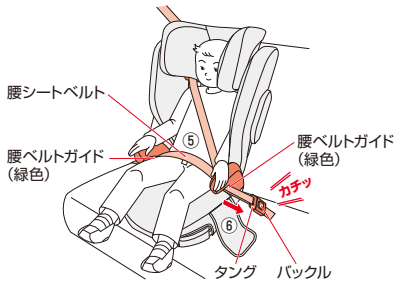


警告

・肩シートベルトにねじれやゆるみがないこと。
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

〈腰シートベルトをとめる〉

⑤腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し（左右）、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通す。
⑥タングをバックルに差し込む。

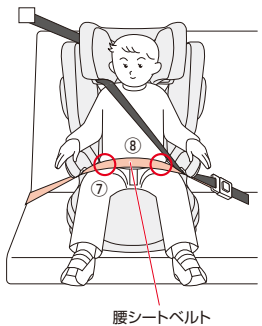


警告

・腰シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。

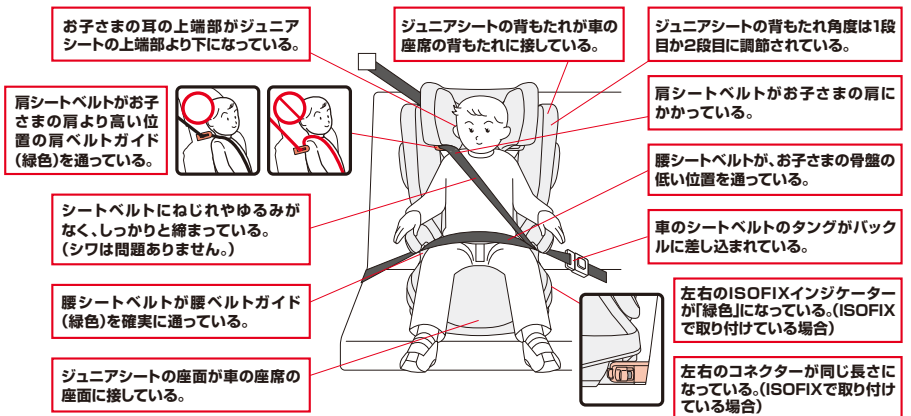
〈腰シートベルトを下げる〉

⑦腰シートベルトを低く下げ、お子さまの骨盤の低い位置を通るように調節する。
⑧シートベルトがしっかりと締まっていることを確認する。



ブースターシートモード／使用時の確認〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

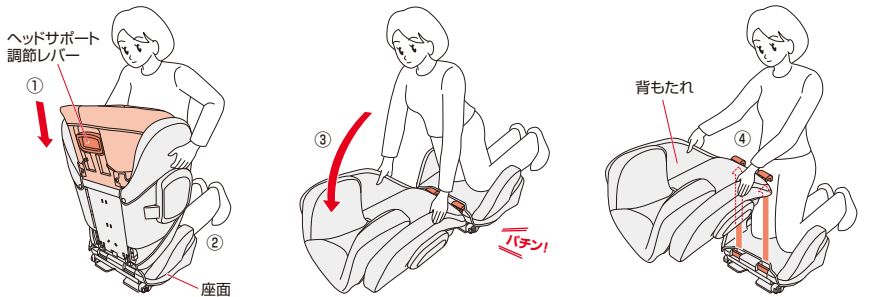
・正しくできていない場合は、もう一度P23～P25、P29～P30の手順をやり直してください。



ブースタークッションモード／背もたれの取り外しかた

〈背もたれを取り外す〉 ・取り外し作業は、広く平らな場所で行ってください。

①ヘッドサポート調節レバーを引き上げ、ヘッドサポートを下げる。
②座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。
③背もたれを倒す。
※少し大きな音がしますが、故障ではありません。
④背もたれを水平にして持ち上げ、取り外す。



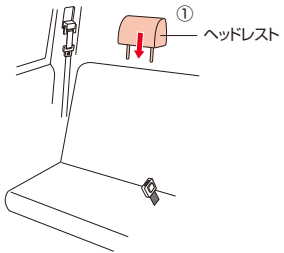
警告 ・取り外す時に、指などを挟まないよう注意する。

警告 ・取り外した背もたれは座席などの乗車空間に放置しない。
衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

ブースタークッションモード／車への取り付けかた（シートベルト）

〈座席の準備〉 ・調節可能な場合のみ。

①車のヘッドレストを取り外している場合は取り付ける。

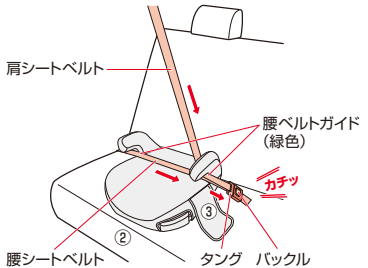


〈ジュニアシートをのせる〉

②ジュニアシートを座席にのせ、ジュニアシートの前部が座席からはみ出していないことを確認する。

③腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し（左右）、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。

④シートベルトがしっかりと締まっていることを確認する。



警告

・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告

・お子さまが乗っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで固定する。
急ブレーキや衝突時などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。
・シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。

ブースタークッションモード／お子さまの乗せかた

〈お子さまを乗せる〉

①お子さまを座面に深く座らせる。



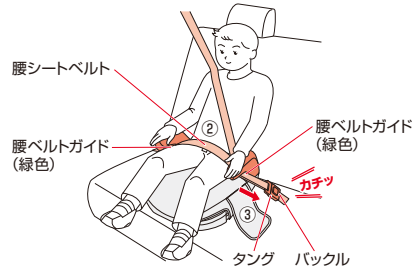
〈腰シートベルトをとめる〉

②腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し（左右）、肩シートベルトをバックル側のみ腰ベルトガイドに通す。

③タングをバックルに差し込む。

④腰シートベルトを低く下げ、お子さまの骨盤の低い位置を通るように調節する。

⑤シートベルトがしっかりと締まっていることを確認する。



警告

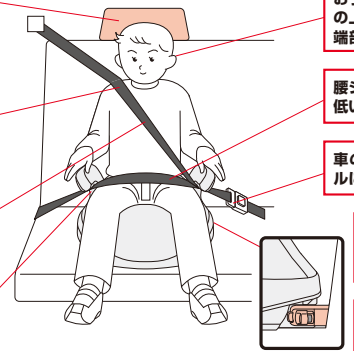
・お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、またはヘッドレストの上端部より上に出る場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告

・シートベルトにねじれやゆるみがある状態で使用しない。
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。
ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

ブースタークッションモード／使用時の確認〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

・正しくできていない場合は、もう一度P34の手順をやり直してください。



- 車のヘッドレストを取り付けている。（取り外せる場合）
- 肩シートベルトがお子さまの肩にかかっている。
- シートベルトにねじれやゆるみがなく、しっかりと締まっている。（シワは問題ありません。）
- 腰シートベルトが腰ベルトガイド（緑色）を確実に通っている。
- お子さまの耳の上端部が車のシートの上端部、または、ヘッドレストの上端部より下になっている。
- 腰シートベルトが、お子さまの骨盤の低い位置を通っている。
- 車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。
- 左右のISOFIXインジケーターが「緑色」になっている。（ISOFIXで取り付けている場合）
- 左右のコネクターが同じ長さになっている。（ISOFIXで取り付けている場合）

シートカバーの取り外しかた

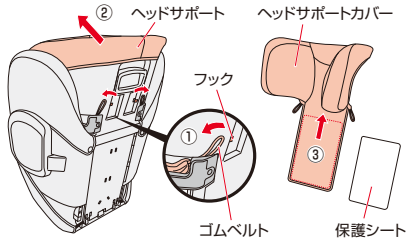
※シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。

〈準備〉

・背もたれを取り外す。（P32参照）

〈ヘッドサポートカバー〉

①ヘッドサポートのゴムベルトをフックから外す。（2カ所）
②ヘッドサポートカバーを取り外す。
③保護シートを抜き取る。

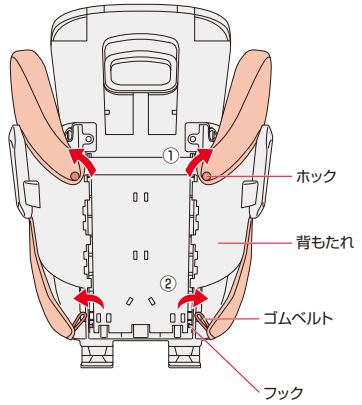


警告

・シートカバー、保護シートを取り外した状態で使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。

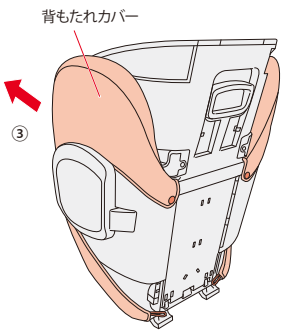
〈背もたれカバー〉

①背もたれ上部のホックを外す。（2カ所）
②背もたれ下部のゴムベルトをフックから外す。（2カ所）



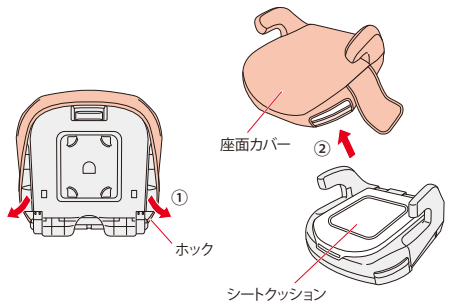
シートカバーの取り外しかた

③背もたれカバーを取り外す。



〈座面カバー〉

①座面後部のホックを外す。(2カ所)
②座面カバーをめくり、取り外す。



注意

・シートクッションは取り外さないでください。本体との取り付け部分が破損するおそれがあります。

お手入れ／保管・廃棄のしかた

〈ヘッドサポートカバー、背もたれカバー、座面カバーの洗濯〉

※クッション材、保護シートを取り外してください。



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

注意

・他のものと一緒に洗濯しないでください。
色移り(移染)のおそれがあります。

〈樹脂部分・クッションのお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

・タオルなどで乾拭きしてください。
・可動部、レバー付近にゴミがつまらないようこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
・クッション材は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
・クッション材は日陰で乾燥させてください。

注意

・本体やクッション材、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。
・本体を水洗いしないでください。故障の原因になります。

〈保管するときは〉

・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。

注意

・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。
・各レバーが元の位置に戻っていることを確認にしてください。故障の原因になります。

〈廃棄するときは〉

・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

困ったときに〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 P41「アフターサービスについての連絡先」参照
ジュニアシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	車の取扱説明書にアイサイズ適合、『汎用型チャイルドシートの取り付けが可能』と記載されている座席、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した座席に概ね取り付けできます。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	運転席より後ろの座席への取り付けをお奨めします。(P10「座席の条件」参照) 取り付けできない座席ついては、P12「座席の条件」、P14「シートベルトの条件」を参照ください。

〈取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
車のシートのISOFIXバーにうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。(P23「車への取り付けかた」参照)
ISOFIXで取り付け後もジュニアシートが左右に動く	車のISOFIXバーの形状により取り付け後もある程度左右に動きますが安全上問題はありません。
取り付け後、背もたれが前後に動いたり座面が上下に動く。	背もたれや座面は完全に固定されるものではありませんので前後上下に動きますが安全上問題はありません。

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
シートベルトの"ねじれ"が取れない。	シートベルトのバックルにタングを"ねじって"挿入していないか確認してください。 (P30「ブースターシートモード」、P34「ブースタークッションモード」参照)
	ジュニアシートを取り外し、車の取扱説明書に従って"ねじれ"を取り除いてください。
シートベルトのバックルにタングを差し込みにくい。(ISOFIX固定の場合)	ISOFIXで取り付け後もある程度左右に動きますので、座面がバックル側に寄ってしまいバックルにタングを差し込みにくくなる場合があります。その場合はドア側に製品を押し戻してください。

〈取り外しで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
アンカーラッチが解除できない。	ジュニアシートが車の進行方向に向かって斜めに向いている場合は、ジュニアシートの向きを正面に戻してから再度取り外し操作をしてください。(P26「車からの取り外し方(ISOFIX)」参照)
	車のISOFIXバーの形状により、アンカーラッチ取り付け後も本製品がある程度左右に動きますが、ISOFIXバーの端にアンカーラッチが寄り過ぎ干渉することで解除できない場合があります。 その際はジュニアシートを中央(アンカーラッチをISOFIXバーの中央)に戻してからアンカーラッチを解除してください。

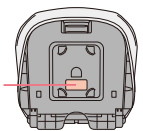
保証について

〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて
・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
・保証期間中**(購入日より1年間です。)**に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただくことがございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。**(修理箇所の保証期間は1カ月です。)**
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。**(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)**

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、座面裏面シールの**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉
ベビー事業部 お客様サポートセンター　TEL **0120−415−814**
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**
受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。